

【機密性 1 完全性 1 可用性 1】

東尾張病院 地域連絡会議 議事概要

1. 日 時 平成29年12月15日（金）14：00～14：55
2. 会 場 東尾張病院 デイケア棟2階 視聴覚室
3. 出席者 地域住民代表委員6名（6名欠席）、関係機関委員6名（3名欠席）、
院内委員7名（1名欠席）
4. 概 要
 - ① 委員の紹介
 - ② 院長挨拶
 - ③ 司法精神医学部長から「対象者の入院状況等」について、配付資料に基づき説明
 - ④ 司法精神医学部長から「裁判員裁判と精神鑑定」について、配布資料に基づき説明
 - ⑤ 事務部長から「緊急連絡表における伝達訓練の結果」について、配布資料に基づき説明
 - ⑥ その他質疑応答

【主な質疑】

〈対象者の入院状況等〉

委員1：現在の東尾張病院入院対象者32名の内容は示されていないが、どのようになっているか。

→入院中の対象者ということでは、人の入れ替わりがあり、人数や内訳が変わってしまうため示していない。配布資料ではスライドの11枚目以降にこれまでの入院対象者の累計のデータを示している。

委員1：平均すると、日々これぐらいの割合であると考えてよいか。

→ほぼ同じ割合である。

〈緊急連絡表における伝達訓練の結果〉

委員2：患者離院は過去何名あったか。

→病棟を開設した当時、1名離院があった。

委員2：その方はしっかりとしていた方か。例えば、塀を見た限りしっかりした意思が無いと逃げ出せないと感じたがどのような方だったか。

→この方は重大でない行為であったことも含め、医療観察法制度に不満を持っていた。加えてスポーツの特待生になるなど身体能力が高い方だった。また、病棟を

【機密性 1 完全性 1 可用性 1】

建てたばかりでフェンスに返し設計がなく、フェンスの近くに雨どいが露出しており登りやすかったという設備的な不備もあった。

現在は雨どいにカバーを付け、フェンスに返しを取り付けた。壁とフェンスの間が狭く登り易い場所についても、現在は立ち入らせない等予防策を取っている。離院をした方は病院の近くで発見され病棟へ戻り、現在は退院し地域で生活している。

離院については厳重な注意を払い、こういった事故が起こらないようにしているが、万が一に備え訓練を行っている。

委員 3：連絡網だが同じ校区で 2 人連絡が必要だろうか。我々の校区は連合会長に連絡を頂ければ関連部署に連絡が入ることになっている。1 人に絞った方がよいのではないか。

→昨年度は初めての実施であったため、このように連絡網を作った。頂いた意見を踏まえ、今年度の実施に向け考えていこうと思う。

委員 4：連絡網だが、隣の町内への連絡が 10 時の発生から 20 分かかっている。離院の一番の接点は隣の町内だから、連絡網の取り方も検討が必要ではないか。

→参考にします。

連絡体制については今回初めての実施であったから色々ご意見があるかと思う。参考にし、改良を加えていきたいと考えている。

以上